

●ハツ保地区意見交換会記録

実印した

平成26年8月29日(金)午後5時～6時35分 (ハツ保公民館)

質問事項	答弁要旨	答弁者
<p>① ハツ保地区の自主防災組織では、自警団はそのまま消火班に組み入れているが、今後の自警団員のあり方について疑問が生じている。町の基本的な考え方は、 自警団への補助がなくなるが、ポンプなどの器具を修繕した場合の補助は今後あるのか。また、自主防災組織への助成は、3年間を過ぎたらなくなってしまうのか。</p>	<p>町では、自警団は消火的なことだけでなく、幅広い防災関係の役割を担っていただく自主防災組織の一部として考えており、平成26年までに全ての地域に自主防災組織を設立したいと考えています。 現在、自警団運営費として、4万5千円の補助をしておりますが、運営費補助につきましては、廃止の方向で考えております。その代り、自主防災組織の設立にあたっての助成を10万円を上限とし、3か年は集中的に行っていきたいと考えています。しかし、3年で助成を打ち切ってしまうのではなく、必要であれば支援していききたいと考えております。 また、自警団のポンプの修繕等の助成につきましても補助していききたいと考えております。</p>	<p>総務課長</p>
<p>② 自警団は、水防団としての活動交付金をもらっているが自警団が無くなると、その交付金もなくなる。今後の水防団の取り組みについて、町の考え方を聞きたい。</p>	<p>水防団としての考え方は、自警団をもって水防団としていただくものでなく、自主防災組織に自警水防団としての位置づけをし、水防も自主防災会に残していきたいと考えています。 いざ水害になったら今の自警団だけが対応すればよいということではなく、総合的な災害を考えた時に、地域で組織的にどう動けるかが重要と考えています。</p>	<p>総務課長 町長</p>
<p>③ 現在、自警団では月1回のポンプの点検を実施する事により若者がコミュニケーションをとっているが、自警団が無くなってしまうとコミュニケーションの場がなくなり、チームワークのとれた活動も欠けてしまう可能性が高い。何か良い方策はないだろうか。</p>	<p>若者だけに特化した自警団を存続させようとすると思えば難しいかと思いますが、特に自警団組織がしっかりしているハツ保地区では、地域の実情に合わせて消防ポンプは存続していただいで結構であります。地域に合った形での組織形成をお願いできればと考えております。 町としましても、区長さんも1年で交代されるケースが多いため、自主防災のリーダーを育てていききたいと考えています。また、1年に1回だけの訓練だけでなく、日頃からの自主防災の意識をもってもらえるような啓発運動も積極的にできるようにしていきたいと考えています。</p>	<p>総務課長</p>
<p>④ 自主防災組織の立ち上げに伴い、自警団廃止という意識のずれが出てきてしまっている。自警団の位置づけとして、町としての方針を聞きたい。</p>	<p>自警団組織を残し、自警団員をそのまま自主防災組織の消火班に移行する場合や、地域全員が自警団員となって活動する場合などがあります。 ハツ保地区としては若者のコミュニティの場を活かした自主防災組織の消火班と位置付けて考えていこうという考えは伺っています。 他市町村と比べると、川島町にはしっかりした自主防災維持の核ともなる自警団組織があるのは特異であります。町としてこうしたほうが良いという統一的な考えはございません。</p>	<p>総務課長</p>
<p>⑤ 集落間の道路や水路際の草刈りについて、最近、農地を貸している方が多いため誰がやるのか問題になっている。町の考えを聞かせてほしい。</p>	<p>町としましては、地先の方または地域でお願いしています。昔は、もく刈りとして下流の人が上流まで実施していましたが、最近は集落内だけになってしまっているようです。地域にもよりますが、非農家の方にも出役していただき実施している地域もございますので、地域や集落間で話し合いを行い実施していただきまうようお願いいたします。</p>	<p>町長</p>

	質問事項	答弁要旨	答弁者
⑥	一度、町外に転出した若者からは「小学校が複式学級になったら川島には戻れない」という声を聞く。一時的に町外に出た若者が戻ってれるような学校の規模を早急に検討してもらいたい。また、検討した結果を早めに実践に向けてもらいたい。	若者夫婦が川島に帰ってくるのに、「複式学級」が1つのキーワードだと考えています。学校規模の適正化については、2年前から検討委員会を立ち上げて検討を行ってまいりました。今年5月に「統合」という方法で早急に取り組む必要があるという報告がなされ、現在は教育委員会でこの報告に基づいて基本的な考え方が出せるよう検討している段階であります。町長と相談しながら考えてまいります。	教育長
⑦	今後、八ツ保小学校が複式学級になる可能性はあるか。	今年度の2・3年生は17名であり、転入者がいたため複式学級から免れた経緯がありますので、複式学級になってしまう可能性はあります。	教育長
⑧	農地の集積化について、川島町は動き出しているのか。	町でも積極的に農地の集積化を実施できるよう進めております。昨年は、各80地区に対して説明会を行い、三保谷の平沼地区では、農地の集積を図るための計画として「人農地プラン」を作成することができました。今後は、農地中間管理機構を活用し集積化を図ってまいります。	町長